

<p>変更依頼の対応箇所を検討する前に 他システムへの影響を検知する方法</p>
<p>New methodology to identify the impacted area of the existing surrounding systems in advance before considering detail specification of the change request</p>
<p>木下 良介 株式会社リンクレア 中澤 康郎 株式会社メディカルシステム研究所 大杉 仁司 東京海上日動システムズ株式会社</p>
<p>発表要旨：</p> <p>今日、企業の業務システムは、多数のシステムを用いて多様な業務サービスを提供している。そのような企業のシステム開発の現場では、システム毎に組織や担当者が分かれていることが多い。そのため、担当者の関連システムに対する理解不足から、システム間の連携漏れを発生させている。そこで、企業内の業務サービスに精通し保有システムを横断的に観ることができる部署、担当者が求められている。加えて、顧客からの仕様レベルの変更依頼（具体的な変更指示）が、関連する他システムへの影響を気付かせない一因となっている。</p> <p>そこで我々は、USDM (Universal Specification Describing Manner)が持っている仕様から要求を導出する技法を利用し、さらに、関連するシステムの「システムプロファイル」を利用して、他システムへの影響の有無を洗い出す「変更要求-関連システム表」を考案した。これを利用することで、他システムへの連携漏れを防げるようになる。</p>
<p>キーワード： 変更依頼を対応する際に関連するシステムへの影響を早期に発見し漏れを防ぐ</p>
<p>想定している聴衆： 派生開発に携わっておられる方で、上流工程において仕様の抜け漏れを防げないかと考えられている方々。</p>
<p>発表者の紹介（全角１００文字）：</p> <p>27 期 SQiP 研究会、派生開発の第 6 分科会で昨年度ともに研究を行ったメンバです。</p>

* 副題は不要であれば行ごと削除してください